

大型トラック緩衝装置（ショックアブソーバ）のリコールについて（2018年3月20日：届出対象車両更新）

平成 30年2月22日

リコール届出番号4202

UDトラックス株式会社は下記のリコールを国土交通省に届出しました。
対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。
ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。
対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

対象車両の情報を更新いたしました。対象のお客様には、順次ダイレクトメールにてご案内させていただきます。（2018年3月20日）

1. 不具合の状況

大型トラックにおいて、

- ①
エアサスペンション仕様の車高調整装置装備車におけるショックアブソーバのピストン構造が不適切なため、横力によってピストンとシリンダの接触面圧が過大となり、荷役作業時等で最大車高まで上昇させ下降する動作を繰り返すと、ピストンリング溝部で内壁を傷つけることがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ショックアブソーバのピストンリング部に金属片が溜まり固着して、曲りや折損が発生し、最悪の場合、タイヤと干渉してバーストまたは発熱により発火するおそれがあります。
- ②
制動装置における前輪ブレーキチャンバの組付作業が不適切なため、プラグ（閉止栓）またはテストニップルおよびブレーキホース接続部（ニップルおよびホース接続ナット）の締付トルクが不足しているものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該プラグ等が緩みエア漏れが生じ、最悪の場合、脱落してエアが供給されず制動力が低下するおそれがあります。
- ③
前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプ締付けボルトのメッキ前処理（酸洗い）工程が不適切なため、水素脆化によりボルトの強度が低下しているものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが破断してタイロッドエンド部にガタが生じ、最悪の場合、タイロッドチューブが破損して、操舵不能になるおそれがあります。

2. 改善の内容

①
全車両、ショックアブソーバを対策品と交換します。また、取扱説明書に車高調整装置の特性に関する記述の追補版を配布します。

②
全車両、プラグまたはテストニップルおよびブレーキホース接続部（ニップルおよびホース接続ナット）を点検し、規定トルクで締付けます。

③
全車両、前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプボルト／ナットを対策品と交換します。なお、ボルト／ナットが損傷または脱落している場合には、タイロッドをアセンブリで交換します。

3. 対象車両

- UDトラック株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラック	2PG-CD5AL	「クオン」	JNCMBN0C1JU027361 ~ JNCMBN0C0JU028811 平成29年10月26日 ~ 平成29年11月20日	2	② 2台
	2PG-CD5BA		JNCMBN0C8HU021910 ~ JNCMB02C3JU028477 平成29年6月9日 ~ 平成29年11月9日	13	① 13台 ② 11台
	2PG-CD5BL		JNCMB02C3HU025945 ~ JNCMB02C5JU027525 平成29年9月19日 ~ 平成29年10月25日	6	② 6台
	2PG-CD5CA		JNCMB02C2HU016413 ~ JNCMB02C9JU030489 平成29年4月28日 ~ 平成30年1月17日	262	① 262台 ② 252台

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の 範囲及び製作期間	リコー ル対象 車の台 数	備 考
	2PG-CD5CL		JNCMB02C3HU024925 ~ JNCMBP0C4JU028418 平成29年9月1日 ~ 平成29年11月7 日	13	② 13台
	2PG- CG5BA		JNCMB02G9HU025953 ~ JNCMB02G0JU028424 平成29年9月8日 ~ 平成29年11月7 日	3	① 3台 ② 3台 ③ 2台
	2PG- CG5CA		JNCMB02GXHU017229 ~ JNCMB02GXJU030763 平成29年6月22日 ~ 平成30年1月 25日	473	① 471台 ② 448台 ③ 103台
	2PG-CG5CL		JNCMB02G2HU025633 ~ JNCMBP0G6JU028908 平成29年8月21日 ~ 平成29年11月 22日	23	② 22台 ③ 7台
UD トラッ クス	2PG- CW5AL	「クオン」	JNCMB02D5HU017046 ~ JNCMBN0D1JU030298 平成29年5月10日 ~ 平成30年1月 10日	142	② 142台
	2PG- CW5BL		JNCMB02D1HU022941 ~ JNCMB02D1JU029443 平成29年6月19日 ~ 平成29年12月 12日	28	② 28台
	2PG- CW5CA		JNCMB02D7HU022507 ~ JNCMB02D7JU030659 平成29年6月6日 ~ 平成30年1月24 日	24	① 23台 ② 23台
	2PG- CW5CL		JNCMBP0D0HU022005 ~ JNCMBP0D3JU029973 平成29年6月6日 ~ 平成29年12月 25日	34	② 34台
	2PG-CX5BA		JNCMB02D6HU024538 ~ JNCMB02D5JU029669 平成29年7月28日 ~ 平成29年12月 12日	8	① 8台 ② 8台

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
	2PG-CX5BL		JNCMB02D3HU026151 ~ JNCMB02D2JU030116 平成29年8月30日 ~ 平成29年12月26日	6	② 6台
	2PG-GK5AAB		JNCMB22A4HU022644 ~ JNCMBP0A9JU031183 平成29年11月14日 ~ 平成30年2月6日	62	① 62台 ② 54台
	2PG-GK5AAD		JNCMB22A0JU027989 ~ JNCMBP0A3JU031566 平成29年11月8日 ~ 平成30年2月16日	35	① 35台 ② 28台
	2PG-GK5AAE		JNCMB22A7JU029657 平成29年12月14日	1	① 1台 ② 1台
				1135	① 878台 ② 1081台 ③ 112台

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラックス株式会社 お客様相談室

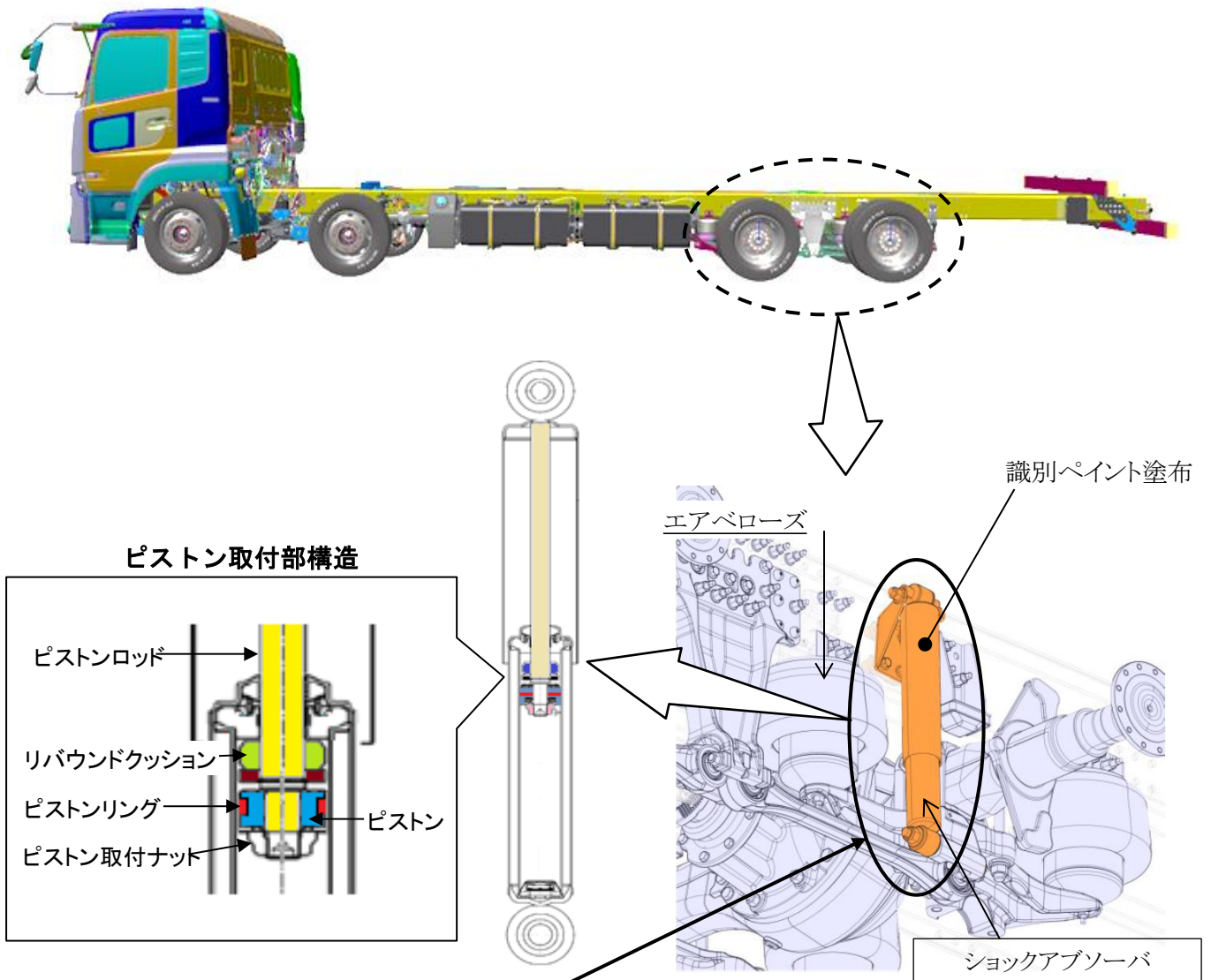
〒362-8523 埼玉県上尾市大字壺丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図①



基準不適合発生箇所

エアサスペンション仕様の車高調整装置装備車におけるショックアブソーバのピストン構造が不適切なため、横力によってピストンとシリンダの接触面圧が過大となり、荷役作業時等で最大車高まで上昇させ下降する動作を繰り返すと、ピストンリング溝部で内壁を傷つけることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ショックアブソーバのピストンリング部に金属片が溜まり固着して、曲りや折損が発生し、最悪の場合、タイヤと干渉してバーストまたは発熱により発火するおそれがある。

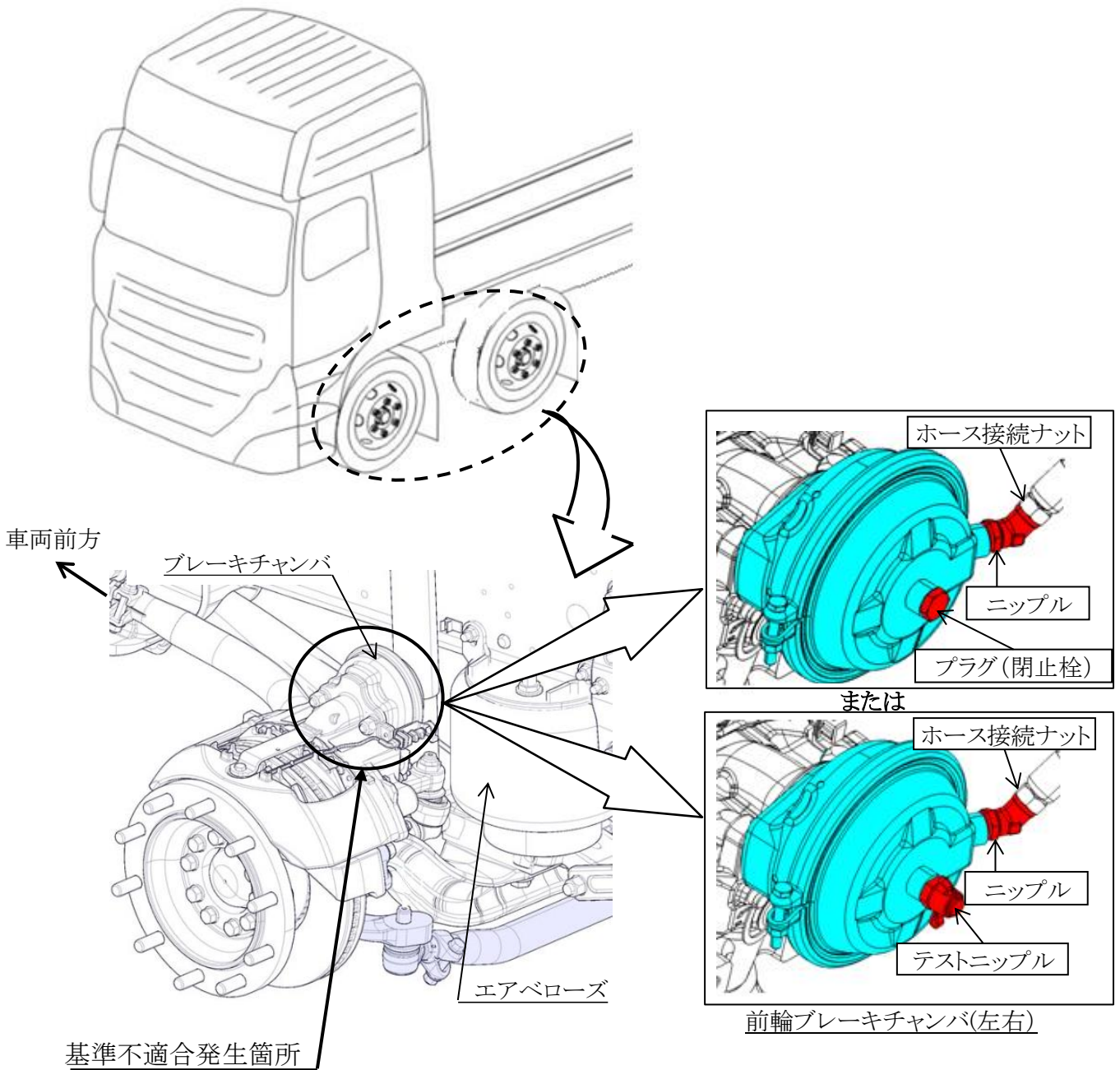
改善措置の内容

全車両、ショックアブソーバを対策品と交換する。また、取扱説明書に車高調整装置の特性に関する記述の追補版を配布する。

注： は交換する部品を示す。

識別： ショックアブソーバー上部外筒の表面に白色または黄色のペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



制動装置における前輪ブレーキチャンバの組付作業が不適切なため、プラグ(閉止栓)またはテストニップルおよびブレーキホース接続部(ニップルおよびホース接続ナット)の締付トルクが不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該プラグ等が緩みエア漏れが生じ、最悪の場合、脱落してエアが供給されず制動力が低下するおそれがある。

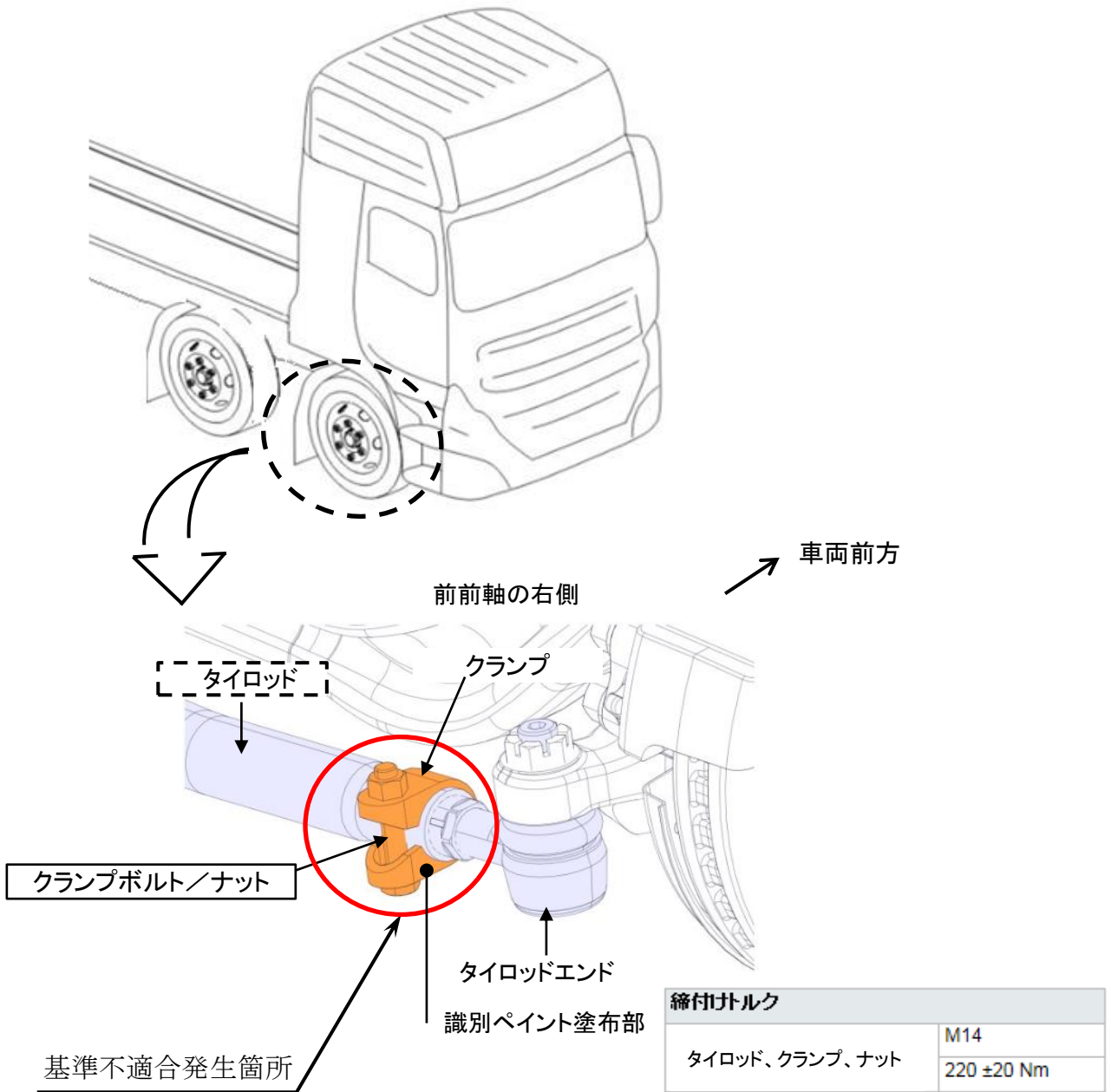
改善措置の内容

全車両、プラグまたはテストニップルおよびブレーキホース接続部(ニップルおよびホース接続ナット)を点検し、規定トルクで締付ける。

注：□ は措置する部位を示す。

識別:ブレーキチャンバのプラグ(またはテストニップル)およびブレーキホース接続部に白色のペイントを塗布する。

改善箇所説明図③



前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプ締付けボルトのメッキ前処理(酸洗い)工程が不適切なため、水素脆化によりボルトの強度が低下しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが破断してタイロッドエンド部にガタが生じ、最悪の場合、タイロッドチューブが破損して、操舵不能になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプボルト/ナットを対策品と交換する。
なお、ボルト/ナットが損傷または脱落している場合には、タイロッドをアセンブリで交換する。

注： は、交換する部品を示す。 は、必要に応じてアセンブリで交換する部品を示す。
識別: 作業完了車には、右タイロッドエンドのクランプ部に黄色又は白ペイントを塗布する。